



学年通信 No.4 宝仙学園中学校 第1学年

平成29年5月1日(月) 発行

5月です。「できない理由」ではなく「できる理由」探しをしよう。

学年主任 對馬 洋介

11期生のみんな、【判断し、決断できる人】になるために、今一度先生達と共有しましょう。

1) 他人を思いやる。

→「人には黄身と白身がある」話を覚えていますか。学校は誰もが安全に安心して過ごせる場所でなければなりません。

2) 自分たちの生活(学校・家庭)を自分たちの力で行なう。

→自分のことは自分です。ウェルカムキャンプはそのきっかけです。

3) 時間を守る。約束を守る。

→人の時間を奪う権利は誰にもありません。一方提出物を出す行為は君たちの義務です。

4) 人の話を聞く。

→元々は「音」「匂い」「味」を感知するという意味を含んでいるのが「聞く」です。五感を使って「受け取る力」を養いましょう。

5) 授業に真剣に取り組む。

→教員も真剣勝負、そのためには我々も準備が大切なのです。

→そして君たちも全力で。

→授業は皆で作るあげるものです。

【クラスとして、チェックしてみよう】

- 「元気に挨拶している」
- 「学級委員がクラスをまとめている」
- 「朝礼・終礼を自分達で進めている」
- 「掃除は隅々まで、きれいにしている」
- 「係の仕事がきちんとその責任を果たしている」
- 「行事はもちろん、小テスト1つでもクラスの一体感を意識しながら全力で取り組む」

【みんなで向かいたい】

- 一人一人が自分の成長を意識できるようになる。
- 左足を出せば、右足が出る。その繰り返しです。

- いつも前向きで挑戦する気持ちを持つ。→失敗してもマイナスにはなりません。
- 目標設定をきちんとする。→行き先も考えずに電車に乗りますか。
- 一生懸命取り組む人を褒め称える。→ぜひ真似しよう。そして君も「努力の達人」になろう。
- 結果より過程を重視する。→結果は後からついてくるのです。
- 人のために何かをする。→人はしたことは忘れてもされたことはよく覚えているものです。

晩年のチャールズ・チャップリンは、「あなたの最高の作品は何ですか」との問いに「次の作品だ」と言ったそうです。人が見ていない時、「毎日」どこまで頑張れるか。

「できない理由」ではなく「できる理由」を探し、今すぐ行動しましょう。

【二年生からのメッセージ：中間考査に向けて】

4/26(水)の午後に剣道場にて二年生数名を招き、一年生全員を対象に講演をしてもらいました。内容は「中間考査に向けてのアドバイス」でした。今回も運営は全て学級委員達に委ねました。

先輩たちの具体的学習方法や失敗談に真剣に耳を傾けていました。今後も学年を超えた交流も大切にしていきたいと思います。



【ゴールデンウィーク課題と中間考査について】

5月3日から7日まで連休となります。楽しみですね。ぜひ家族との時間、友人との時間、大切にしてください。一方各教科課題も出ております。この課題はその後5月19日(金)から始まる初めての中間考査にもつながります。睡眠を貯めることはできません。毎日コツコツと取り組みましょう。

国語：①全員による読書プレゼンの原稿作成 ②5/8(月)の校内漢字イベント：K1の練習(提出は任意) ③週末の定期課題

数学：5/8(月) 項目テスト実施

英語：①連休明けに教科書 p.14、15の単語テスト ②レッスン1の暗唱テストの練習(ペア)

社会：国名覚える小テスト

【努力の達人：英語編】

・ペタペタ付箋辞書：学年では単語を調べた際に付箋を貼ります。写真はある生徒の辞書です。すでに200個を超えております。圧巻ですね(4月27日現在)。すぐ真似しましょう。

